



学園報



第33号

2018年7月20日発行
発行 学校法人 大阪成蹊学園
広報企画本部 広報企画部
〒533-0007
大阪市東淀川区相川3丁目10番62号
TEL:06-6829-2606
http://osaka-seikei.jp

巻頭特集

Osaka Seikei 85th Anniversary

学校法人 大阪成蹊学園 創立 85周年

さらなる躍進と
発展をめざして

創立85周年記念祝賀会を開催

2018年7月7日(土)大阪・梅田のホテル阪急インターナショナルにて、大阪成蹊学園創立85周年を祝う記念祝賀会を開催しました。85年間の学園の歩み振り返るスライドショーから始まり、吹田の観音寺でわずか13名の生徒から始まった高等成蹊女学校が相川へキャンパスを移し、現在の学園に発展していくまでの歴史が、貴重な資料を基に紹介されました。石井茂理理事長・総長の式辞では、学園の発展を支えていただいている皆様への深い謝辞とともに、高等成蹊女学校の設立の趣意書や当時の教育指針を紹介しながら、校祖中伊兵衛先生をはじめとする学園草創期の教職員の信念や情熱を受け継いでいくことが述べられました。また後援会寺家照二会長、学園同窓会「蹊友会」藪田一子会長からも、学園への愛情に満ちた温かな祝辞が述べられました。

大阪成蹊大学 武蔵野實学長による乾杯の挨拶のあと、近年輝かしい活躍をした学生5名、学園改革に尽力した教職員21名への特別表彰が行われました。会の後半には記念コンサートが催され、学園コーラス部、日本センチュリー交響楽団、そして昨年大阪成蹊短期大学を卒業し、第1回「大阪成蹊学園ピアノコンペティション『ピアノ Maestro 部門』」で優勝した岩見咲紀さんによる、素晴らしい演奏・合唱が宴に華を添えました。最後に佐藤英夫専務理事より、学園の益々の発展を祈念した閉会の辞が述べられ、祝賀会は閉会しました。

天候が心配された中、多数の方々にご列席を賜り素晴らしい祝賀会となりました。



▲記念コンサートの様子

これまでの大阪成蹊学園の輝かしい発展

学びの分野の充実と学修環境の整備、教職員が一丸となった教学改革を進め、今年創立85周年を迎えました。ここではこれまでの大阪成蹊学園の、輝かしい発展の軌跡を振り返ります。

各校で幅広い
学びの分野を充実

大阪成蹊学園では時代の要請に即した多くの学びを取り入れてきました。2014年には、大阪成蹊大学に教育学部を開設。マネジメント・教育・芸術の3学部体制となり、2016年にマネジメント学部スポーツマネジメント学科を開設、2018年にはマネジメント学部国際観光ビジネス学科、教育学部教育学科中等教育専攻、および大学院教育学研究科など、次々と新たな学びを展開してきました。さらに来月4月には、芸術学部「ゲーム・アプリケーションコース」「美術・アート表現コース」の開設が予定されています。



びわこ成蹊スポーツ大学では、様々な側面からスポーツの社会的役割を学ぶ7つのコースを展開しています。独自の「野外スポーツ3大実習」などのカリキュラムを通して、新たなスポーツ文化を創造する人材を育てています。

大阪成蹊短期大学では、60年に及ぶ伝統ある幼児教育の学びに加え、2016年には旧・総合生活学科を改組し、生活デザイン学科、調理・製菓学科、栄養学科を開設しました。7学科13の幅広い学びで、総合短期大学として日本一の規模を誇っています。

大阪成蹊女子高等学校では、キャリア進学、キャリア特進、幼児教育、スポーツの4コースから成る普通科に加え、2016年に大阪の私学として初めて「美術科」を設置しました。将来を見据えた専門授業を多く取り入れ、社会で活躍できる女性を育成しています。

教学改革により
学びの質を高め、学生の
学修意欲が上昇

大阪成蹊学園では2016年より、20を超えるプロジェクトから成る教学改革を推進してきました。その成果の1つとして挙げられる学びの特色が、学生が主体となって学ぶ「アクティブラーニング」。企業や自治体と連携して課題を解決するプロジェクト型学修や、学びに関する様々なコンペティションを通して学修成果を可視化し、学生自身が課題解決能力の成長を実感できる環境が整っています。

授業満足度調査の結果も極めて高く、年間出席率は90%を超える(※1)など、非常に意欲的に学ぶ学生の姿が見受けられます。加えて、授業評価アンケートや教員研修を通じた授業改善を常に行い、質の高い学びの提供をめざしています。

学びの成果は学生の就職率にも現れており、2018年度は2大学・短期大学ともに約99%(※2)という高い就職率を実現しています。また3月に初の卒業生を送り出した大阪成蹊大学教育学部では、小学校教員希望者46名全員が憧れの教壇に立つことができました。びわこ成蹊スポーツ大学でも約3300名の卒業生のうち783名が教員として活躍するなど、教員採用の面でも強さを誇っています。



(※1)大阪成蹊大学2017年度入学1年生年間出席率
(※2)大阪成蹊大学:99.0%、大阪成蹊短期大学:99.5%、びわこ成蹊スポーツ大学:99.6%(2018年3月卒業生)

キャンパス設備の拡充により、学修環境が向上

学びをさらに質の高いものにするべく、学修環境の整備にも力を入れています。昨年夏には、びわこ成蹊スポーツ大学に新校舎「中央棟」が誕生しました。豊富な講義室や展望レストランを備え、スムーズな授業や学生の豊かな交流が可能となり、学生達からも好評です。また、国際大会で採用される「ブルートラック」へと生まれ変わった陸上フィールドのほか、世界最高峰の人工芝を使ったサッカーフィールドなど、競技環境の向上も進んでいます。

大阪成蹊女子高等学校では、今年3月に新たに「美術棟」が完成しました。さらに、2019年3月には大阪成蹊大学・短期大学「グローバル館」が竣工予定です。今年4月に発足した英語教育専門の組織「英語教育センター」の施設が入るほか、各種イベントや展示が可能な大ホールを備えます。



▲グローバル館完成イメージ

学生のめざましい活躍

近年各校では、学生・生徒の顕著な活躍が多く聞かれます。大阪成蹊大学芸術学部では学生が「日本・アジア学生パッケージデザインコンペティション」で日本人最高の銀賞を受賞したほか、デジタルマンガ・ノベルを扱う人気スマートフォンアプリ「comico(コミコ)」の公式作家として学生がデビューするなど、芸術分野で多くの学生が才能を発揮しています。

スポーツの面でも、強化クラブを中心に素晴らしい活躍が相次いでいます。大阪成蹊大学女子陸上

競技部は、創部5年で日本インカレ総合優勝(2016年)という快挙を果たしました。同じく強化クラブのフットサル部は、全日本大学フットサル大会で2年連続準優勝。さらに、全国9地区のリーグチャンピオンが競い合う大会で2連覇を達成しました。またバントワーリング部は昨年、世界大会で表彰台に上がるという実績を挙げ、注目を集めています。一方、びわこ成蹊スポーツ大学からは、2016年にウインドサーフィンの伊勢田愛選手がリオデジャネイロ五輪に出場しました。そしてサッカー部からは宮大樹選手が昨年のユニバーシアード競技大会に出場し、金メダル獲得に貢献。宮選手を含め、開学以来10人以上のJリーガーを輩出しています。



「選ばれる」魅力ある学園へ。
志願者数は年々増加

輝かしい発展の成果を受け、18歳人口が減少する中にあっても、本学園の志願者数は年々増加しています。大阪成蹊大学の志願者数はこの5か年で倍増し、大阪成蹊女子高等学校においても過去6年間、府内女子校で最大の外部入学者数を記録し続けています。学園全体としては、2017年度学園在籍者数は8年前の約1.5倍となり、全国的にも大きな注目を集めています。

今後も「選ばれる」魅力に溢れた学園をめざし、各校園一丸となって、次なる90周年、100周年に向けて、一層の飛躍をめざしてまいります。

教育コラム①

就任ご挨拶

大阪成蹊短期大学

魅力溢れる短期大学の更なる発展に向けて
—教学改革の担い手そして学長としての使命—

大阪成蹊短期大学 学長 紺野昇



大阪成蹊短期大学の学長を拝命しました紺野です。これまで5年間、併設の大阪成蹊女子高等学校の校長として学校力の向上に努め、全教職員と共に学校改革に取り組んだ結果、今では府内私立高校の中で最も人気のある女子校という評価を受けるまでになりました。

この4月からは、多様な学びを誇る大阪成蹊短期大学を日本有数の総合短期大学として更に発展させるべく、教学改革の担い手として学長の職務に邁進しております。

全国には約330の短期大学があり、その内約200校※は定員が充足しない状況です。そのような中であっても本学は定員を充足し、近年の入学者は全国有数の700名あまりにのぼります。「教育の成蹊」の呼び名にも象徴される幼児教育学科をはじめとする7学科、時代のニーズに合致した資格取得・検定試験への手厚いサポートを行っていることこそが、その原動力であると思います。その成果として、本学は全国平均を大きく上回る高い就職率を誇っています。

加えて、高等教育機関として教育の質の保証に学園全体で組織的に取り組んでいることが、本学の大きな魅力となっています。大阪成蹊学園では24の教学改革プロジェクトにもとづいて組織的・体系的に改革が進んでおり、理事長・総長のリーダーシップの下に各プロジェクトが有機的に結びつきながら、様々な改革案が提案・実行されています。建学の精神にもとづいた人間力育成の教育課程を全学的に策定し、アクティブラーニング型授業や、ルーブリックを活用した成績評価などをいち早く理論化、実践しています。これらの教学改革の成果を検証するとともに、更に効果的に進めていくのが私の主な職務であると思っています。

文部科学省認定機関からは、教育内容や大学運営について国基準の適格審査である認証評価を受けることが定められています。次年度に控えるこの認証評価において、高い評価を得ることも私の使命であると自覚しています。大阪成蹊短期大学の益々の発展に向け、全力で取り組む所存です。皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

※日本私立大学協会 平成29年8月作成データより

大阪成蹊女子高等学校

生徒たちの輝く未来を確信し、
彼女たちにエールを送りたい

本年4月に大阪成蹊女子高等学校の校長に就任しました谷井です。

「今の時代に、あえて女子校であり続ける」そんな本校の魅力は今私は毎日感じています。就職、結婚、出産、再就職など、女性が歩んでいく様々な転機と選択に対して主体的に対応する力を「女子に特化したキャリア教育」を通して身につけてもらう。「女子高だからできること」を存分に経験してもらおう。それが本校の最大のポイントです。

本校の特色の1つが、2学科5コースの多様な学びを準備していることです。大学進学をめざす「キャリア進学コース」と「キャリア特進コース」のほか、「幼児教育コース」、「スポーツコース」、美術科「アート・イラスト・アニメーションコース」があり、それぞれのコースが時代のニーズに応える教育を展開しています。

生徒たちは入学時点でこれら5コースから1つを選びます。私は15歳という年齢で自分のやりたいことをしっかりと考え、進みたい道を選択した生徒たちをととても素晴らしいと思っています。ですから、キャリア進学コースやキャリア特進コースの生徒がグループ学習をしている様子、幼児教育コースの生徒が実習の準備をしている様子、スポーツコースの生徒が野外活動をしている様子、美術科の生徒が創作活動をしている様子を見ると、思わず声援を送りたくになります。

生徒たちの輝く未来を確信し、彼女たちの学びを支え、エールを送り続けてまいります。



大阪成蹊女子高等学校 校長
谷井 隆夫

大阪成蹊短期大学附属 こみち幼稚園

附属幼稚園の特色を生かし、
信頼される魅力ある幼稚園へ

本年4月にこみち幼稚園園長に就任致しました水上です。これまで茨木市立の小学校や教育委員会勤務を経験し、この3月末まで小学校校長を務め、このたび大阪成蹊学園にご縁をいただきました。

本園は、建学の精神「桃李不言下自成蹊」にある「蹊（こみち）」をとって昭和27年に設立され、今年創立66年を迎える歴史ある幼稚園です。この歴史ある幼稚園の園長を務めることにやりがいを強く感じ、気持ちを引き締まる思いです。園児一人ひとりの成長の一端に携わらせていただくことへの大きな喜びと命を預かる大きな責任を感じています。毎日の園児たちの「おはようございます!」という元気な声と笑顔に励まされながら、「先生だいすき、友だちだいすき、幼稚園だいすき」をモットーに、教育目標である「強く明るく考える子ども」を育むため、教職員一同力を合わせてより一層質の高い保育をめざしていく所存です。

本園では、大学や短期大学、高校との連携によって園児たちに多様な活動や体験、さまざまな人との出会いの場を提供しています。こうした附属幼稚園ならではの特色によって、園児たちの豊かな心と身体が育まれると同時に、私たち教職員にも多くの学びがあり、保育者として向上することができます。今後はこれまでの小学校での経験をもとに、附属幼稚園という大きな特色を生かし、信頼される、魅力ある幼稚園をめざしてまいります。何卒よろしくようお願い申し上げます。



大阪成蹊短期大学附属
こみち幼稚園 園長
水上 明美

シンボルマーク・シンボルカラー・
ロゴタイプが新しくなりました!

大阪成蹊大学、大阪成蹊短期大学、大阪成蹊女子高等学校、こみち幼稚園の4校園のマークはこれまで別の形状でしたが、このたび同じデザインに統一されました。建学の精神に通じる「人間力」への想いを込め、人という文字を花びらにデザイン化し、それが集まって咲く桃の花をエンブレム化しています。今回変更のなかったびわこ成蹊スポーツ大学のシンボルマークとも似通った盾の形状となっており、学園全体の一体感が生まれます。



学校法人
大阪成蹊学園

▼大阪成蹊学園 学章
「成蹊（こみち）を成す」の蹊の字を桃の花でかこみ、幾筋かの「こみち」ができあがっていく姿をあらわす。また、相川キャンパスのそばに位置する安威川の清流が学園をめぐって流れる様子を表現



大阪成蹊大学

▼大阪成蹊大学
知的で誠実な人物像をイメージした深みのある濃紺カラー

現状から変更なし



びわこ成蹊スポーツ大学

▼びわこ成蹊スポーツ大学
中央のスポーツをしている人物像は未来に向かっている躍動感を表現。人物像の下の波とセルリアンブルー系の配色は、琵琶湖をイメージ



大阪成蹊短期大学

▼大阪成蹊短期大学
生い茂る桃の葉をイメージした緑色は、幅広い学科「いわば知の森」という特徴を表現



大阪成蹊
女子高等学校

▼大阪成蹊女子高等学校
「女性ならではの教育にこだわりながら、今の時代の女性像を追求する姿勢を表現した桃色



大阪成蹊短期大学附属
こみち幼稚園

▼こみち幼稚園
園児たちの明るさと輝きを見守る先生のあたたかな優しさをオレンジに近いイエローで表現

大阪成蹊大学

芸術学部

「ゲーム・アプリケーションコース」

ゲーム会社ディライトワークスと連携協定を締結

2019年4月開設!



ゲーム・アプリ業界の未来を担う!!

「激動の時代」にあるゲーム業界で活躍できる人材をめざす

2019年4月、大阪成蹊大学 芸術学部 造形芸術学科に新たに「ゲーム・アプリケーションコース」が開設されます。このコースでは、ゲームグラフィックのデザインを中心としてデッサン、デザインの基礎力を身につけます。現場のノウハウを取り入れたゲーム制作実習を繰り返し、さらに他コースとも連携することで、技術力だけでなくアートディレクション力、チーム運営能力を養い、変化の激しいゲーム業界で活躍できる人材を育成します。

ゲーム・アプリケーションコースのポイント

①最新の制作現場のノウハウを体験できる学び

- 「ディライトワークス株式会社」との連携により、ゲーム会社の現役クリエイターからゲーム創りのノウハウを学ぶ
- 実際の商品開発に使用された企画書・仕様書を用いた実践的な演習授業を多数展開
- 大手企業も採用するゲームエンジン「Unreal Engine 4」や、「VR」を使って、「今」求められるスキルを修得

②4年制大学だからその充実したカリキュラム

- 1年次に美術解剖学の知識やデッサンを学び、デザインの基礎力を身につける
- 2～4年次はインターンシップや産学連携プロジェクトでプロの制作現場を体験し、豊富な制作実習を繰り返す

③クリエイターに必要な「人間力」の獲得

- デザインのスキルだけでなく、「課題を解決する力」に重点を置き、アイデア力や思考力を鍛える
- プロの制作現場と同じ制作プロセスに沿ったグループワークで、アートディレクション力やチーム運営能力を磨く

国内累計1300万ダウンロード(*)を突破したスマホゲームで話題のゲーム会社と連携



▲塩川洋介 客員教授

コースの開設に先立ち本学では、『Fate/Grand Order』など大人気作品を生み出すゲーム会社、「ディライトワークス株式会社」と連携協定を締結。様々な産学連携プログラムの実施、現役クリエイターによる直接指導、最先端の学修環境の導入などを実現します。また、同社の執行役員クリエイティブオフィサーを務める塩川洋介氏を客員教授に迎えました。



▲人気スマートフォンRPG『Fate/Grand Order』

企画・仕様・デザイン・実装・完成まで一貫して学べる



連携協定締結式 & コース開設記者会見を開催

2018年3月13日には、ディライトワークス株式会社 代表取締役社長 庄司頭仁氏、塩川洋介 客員教授、石井茂理事 長・総長、佐藤英夫専務理事、武蔵野實学長、門脇英純 芸術学部長、糸曾賢志 造形芸術学科長、川和夕記 准教授（ゲーム・アプリケーションコース主任就任予定）が出席し、連携協定締結式とコース開設記者会見を行いました。連携協定にもとづく様々な取り組みが発表され、新聞や数々のネットメディアで取り上げられ話題となりました。



新任教員 紹介 ～実務経験豊かな教員陣～

大阪成蹊学園では2018年4月、各校に多くの新たな教員を迎えました。各専門分野における実務経験豊富な教員をご紹介します。



大阪成蹊大学

マネジメント学部
国際観光ビジネス学科

平賀 富一 教授

Profile

東京大学経済学部卒業後、東京海上日動火災保険に入社、国際事業、全社経営戦略等を担当。外務省でアジア諸国へのODA(政府開発援助)に携わり、国際金融情報センターで欧州・アジア大洋州部長をつとめる。2009年よりニッセイ基礎研究所でアジア地域の企業動向等調査に従事。2018年4月より大阪成蹊大学マネジメント学部教授。(博士(経営学)、修士(法学))

海外市場での活躍に展望を持ち、自分の強みを磨こう

私は、グローバルな企業経営・サービス業の国際化・グローバル人材の育成などを専門に研究しています。アジア新興国の急速な経済発展により世界が大きく変化中、日本は少子高齢化や財政難といった課題を抱えています。私は、若い皆さんには日本市場のみに固執せず、拡大する海外市場での活躍にも展望を持ってほしいと思っています。

インターネットを使えば日本にいても世界中の情報を入手できるでしょう。しかし実際に異国の地の空気を感じ、考え方や文化の異なる人々と触れ合うことは、非常に貴重な学びをもたらしてくれます。それは同時に、日本を客観的な視点で深く理解するチャンスでもあります。様々な国の有能な人材と交流することは、輝かしく豊かな人生を送ることへと繋がるのです。そのためには学生のうちから、自分の個性や強みを大切に磨くこと、そして語学力、異文化適応力を強化することが重要です。

目標に向かって努力する皆さんを全力でサポートします。国際ビジネスの意義、興味深い様々なテーマと一緒に学びましょう。



大阪成蹊大学

芸術学部 造形芸術学科
ビジュアルデザインコース

桐原 一史 教授

Profile

世界初「Walkman」携帯電話の導入に関するブランド戦略 & マネジメントを担当。ブランド力向上のため、ソニー製品のパッケージデザイン統一プロジェクトを推進。ソニー株式会社の仕事を中心にさまざまなプロジェクトに参加、数多くの受賞歴を誇る。2018年4月より大阪成蹊大学芸術学部教授。

コミュニケーションデザインの重要性を伝えたい

長きにわたり、自分の発想や感性を様々な媒体を介して伝えていく「コミュニケーションデザイン」の仕事をしてきました。モノづくりの過程では、プロセス、チームワーク、コミュニケーションがとても大切です。現代はSNSの影響もあり、メディアを介した文字・映像・ビジュアルによるコミュニケーションは非常に活発になっています。一方で、言葉に出して自分の考えやアイデアを伝えたり、想いを共有したりすることが苦手な人が増えているのではないのでしょうか。私の授業では、ディスカッションや発表の場を多く設け、コミュニケーション力、プレゼンテーション力を強化していきたいと考えています。

ビジュアルによるコミュニケーションは、自分の発想や感性を視覚的に伝えるための有効な手段です。机上だけで物事を考えず、広い視野で興味のある分野を自由に回遊し、地域や社会との結びつきを深めながら、有意義に過ごしてください。



▲クリエイティブプロデューサーとして担当した Sony WALKMAN iPhone



大阪成蹊短期大学

経営会計学科

豊憲 一郎 教授

Profile

大手監査法人で上場企業等の会計監査及びベンチャー企業の上場支援業務を経験したのち、独立開業。25年間、個人事務所として各種税務・経営数字に基づく経営者の意思決定サポート・生産性向上のコンサルティング等の経営支援業務に取り組む。2018年4月より大阪成蹊短期大学経営会計学科教授。

会計の専門知識を修得し、課題を解決する力をつけよう

公認会計士・税理士として独立開業して25年という節目の年に、本学に教員として着任させていただきました。私は高校生の時に公認会計士という職業を知り、将来独立したいという夢を抱きました。公認会計士試験に合格後は大手監査法人で上場企業の会計監査業務に従事していましたが、独立の夢を捨てきれず関与先ゼロの状態でも会計事務所を開業したため、数年間は休日返上で働きました。

その後、一念発起して大学院で法学を学び、そのことが、国や地方自治体の各種委員、公益財団法人の監事といった新たな業務に取り組むきっかけとなりました。これらの業務を通して、大学教員や行政及び関西経済界の方々や様々な議論をさせていただき、視野を広げることが現在役に立っています。

学生の皆さんは、まずは元気に2年間を過ごし、一生付き合える仲間を作ってください。それと並行して、簿記・会計や税法の専門知識を修得し、自由な議論を通して視野を広げ、目の前の課題を一つ一つ解決する力をつける支援をしたいと思っています。皆さんが夢を実現し、「2年間を与えてもらってよかった」と実感する日が来ることを期待しています。明るく楽しく学びましょう。

もっと知りたい 大阪成蹊学園の学び

大阪成蹊大学

新しい学びがスタート!

今年4月、大阪成蹊大学に2つの学びが加わりました。1つは、国内外の企業や観光産業でグローバルに活躍する人材を育成する「マネジメント学部 国際観光ビジネス学科」、もう1つは、中学校・高等学校の教員をめざす「教育学部 教育学科 中等教育専攻」です。今回、それぞれの第1期生の中から2人ずつお集まりいただき、新学科・専攻の学びや雰囲気、在学中に頑張りたいこと、将来の目標などについて、お話しいただきました。

マネジメント学部 国際観光ビジネス学科

1期生・教員 座談会



中野 早速ですが、国際観光ビジネス学科での学びはいかがですか。
服部 とにかく英語を話している時間が多く、英語に対する抵抗感がなくなってきました。「English Communication」をはじめ、授業では毎回必ず英語を話しています。

際観光ビジネス学科を選んだのですか。
服部 以前から「何か国際的な仕事がしたい!」という思いがありました。国際キャリアコースは幅広い職業分野に対応しているので、国際的な教養と英語力を身につけながら、じっくり将来進む道を考えられる所に魅力を感じました。今は、訪日外国人に関わる仕事に興味があります。



落合 私も似ています。私は観光ビジネスコースですが、観光系だけに限定して進路を考えているわけではありません。国際観光ビジネス学科では、観光産業に関する知識は豊富に学びつつ、同時に英語力や経営学に関する知識、国際的な視点を広く身につけられる点が良いなと思いました。今はなりたい職業の1つとして、グランドスタッフを考えています。あとやはり、1年次で「全員が」カナダ・バンクーバー研修に参加できるというのも決め手でした。

西釜 非常に意識が高い学生さんが多いですね。国際的な仕事、多くの人と接する仕事がしたいという学生が多く、皆コミュニケーション能力が高い。そういった素質に加えて、今後語学力が備わればさらに可能性が広がるでしょう。



観光ビジネスコース主任 中野毅准教授

国際キャリアコース主任 梅田肇教授

観光ビジネスコース1年 落合温菜さん (中野ゼミ)

国際キャリアコース1年 服部麻唯さん (西釜ゼミ)

国際キャリアコース 西釜義勝講師

服部 私も留学が楽しみです。自分から現地の学生やホストファミリーに積極的に話せるか緊張しますが、頑張りたいです。
梅田 アメリカやカナダでは、日本よりも「言わなければわからない」文化があります。察してもらうのではなく発言し伝える、日本の社会でもそういった傾向にシフトしてきているのが現状です。単に英語力の習得だけでなく、コミュニケーションの考え方という面でも、1年次という早い段階で良い刺激を受けることができると思います。グローバルな人材をめざす上で、早期に意識を切り替えられるのではないかと。
中野 もっと英語を話したいという意欲も高まる

でしょうね。海外に行つて終わりではなく、現地で学んだ成果を「見える化」し、成長に繋がるような学びがプログラムの中には豊富に盛り込まれています。また、休学の必要なく留学体験が可能で、スムーズに就職活動を迎えられるという理想的なカリキュラム構成も本学科のポイントです。ぜひ3年次の長期留学も検討してみてください。
西釜 「経営」と「語学」を両方学べるのがこの学科の強みです。語学はあくまでツール。物事を理解するための知識や教養を学んだ上で、世界中のあらゆる相手とのコミュニケーションを可能にする英語力を兼ね備えることが目標です。こんな人材になってほしいではなく、「それぞれがなりたい人物像」を見つけ、それに近づくお手伝いができれば嬉しいですね。
服部・落合 1期生として、今後後輩たちに「国際観光ビジネス学科で学びたい」と思ってもらえるような学科にしていけるよう頑張ります!

教育学部 教育学科 中等教育専攻

1期生が語る



「英語教育センター」を活用し、高い英語力とグローバルな視点を身につけた教員になる 松山 京生さん(英語教育コース1年)

高校時代は英語が一番の得意科目でした。3年生になる頃に英語教員という職業に興味をわき、担任の先生から中等教育専攻のことを教えてもらい、入学を決めました。

高校まで文法や長文読解は得意な方でしたが、スピーキングにはそこまで自信がありませんでした。英語教育コースに入ってから、英語を話す機会がとにかく多い。英語を話すことへの抵抗感がなくなっていくのが嬉しいです。コースの授業は発表やディスカッションがメインなので、英語力はもちろん、人前でうまく話して伝えるという力が鍛えられます。

授業を担当して下さる佐々木先生は、常にEnglish Only。授業の前後の雑談も英語で話しています。個人面談が頻繁にあり、添削などもすぐに対応していただけて、わからないところが残らないので助かります。

さらに英語教育コースでは、「英語教育センター」でネイティブの先生の少人数制英語授業を受けられます。日頃からネイティブのスピード感に慣れることで、まだ数ヶ月ですがリスニング力が強化されたように思います。センターではTOEIC対策講座も開催しているので、今後有効活用したいです。教員採用試験では、TOEICの高スコア取得者には一部試験の免除や加点などの措置が行われることがあるので、それをめざして頑張ります。

2年次に予定されている海外留学プログラムにも是非参加したいと考えています。英語運用力を磨くことはもちろん、実際の教育現場で外国人の生徒と接する機会も増えてくると思いますので、そういったことも見据えて、グローバルな視点で教育を考えられるようになりたいです。一人ひとりの生徒に寄り添うことのできる英語教員をめざして、4年間頑張りたいと思います。



教員になる夢と陸上競技、両方に全力で取り組みたい

吉野 史織さん(保健体育教育コース1年)



中学・高校時代は陸上に打ち込んでおり、関西の強豪として知られる大阪成蹊大学の女子陸上競技部で、瀧谷賢司監督のもとで競技を続けたいと思ったことが志望理由の1つです。

一方で私には「教員になりたい」という思いがありました。きっかけは、中学時代の陸上部顧問の先生との出会い。その先生は競技の指導だけでなく、謙虚な姿勢や周囲に感謝の気持ちを持つことなど、人として大切な様々なことを教えてくださいました。その先生のおかげで選手としてだけでなく人として大きく成長できたと感じますし、そこで学んだことは今でも自分が物事に向き合う上でのベースになっています。その経験から、自分も教員として「自分を成長させてくれる」特別な経験を提供する側になりたい、と思うようになりました。そして大阪成蹊大学に中等教育専攻・保健体育教育コースが開設されると知り、自分にぴったりだと感じて入学を決めました。

コースでは先生との距離が非常に近く何でも相談できる環境なので、不安を抱えることなく過ごせています。毎日のように実技授業があり、様々なスポーツを経験してきた学生たちの集まりなので、得手不得手をアドバイスし合いながら切磋琢磨できる環境で居心地が良いです。私は大会出場などで授業に出られないこともあるのですが、先生や学生全員がそのことを理解してサポートしてくれるので、とても助かります。今後、より専門的な保健体育指導の理論や技能についての授業を受けるのが楽しみです。

陸上競技部での毎日非常に刺激的で、高校までと違い、身体の状態やタイムと自主的に深く向き合って競技に取り組んでいます。何よりも、世界レベルの大会で活躍する先輩たちと共に日々練習することで気が引き締まります。

今後も教員への道と陸上競技、両方に全力で取り組んでいきたいと思っています。



※上記の座談会・インタビューは2018年5月に実施しています。

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学

英語教育センター START

英語教育をトータルでサポート!
英語コミュニケーション力向上・グローバルな人材の育成をめざします。

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学の学生の英語学習をサポートする組織、「英語教育センター」が、2018年4月に中央館1階にオープンしました。大阪成蹊大学 マネジメント学部国際観光ビジネス学科と、教育学部教育学科中等教育専攻の英語教育コースの学生を中心に、学科科目と連動した英会話授業や個別指導を行うほか、英語学習や海外留学に関わる支援を行います。

英語教育センター内は、「ENGLISH ONLY」

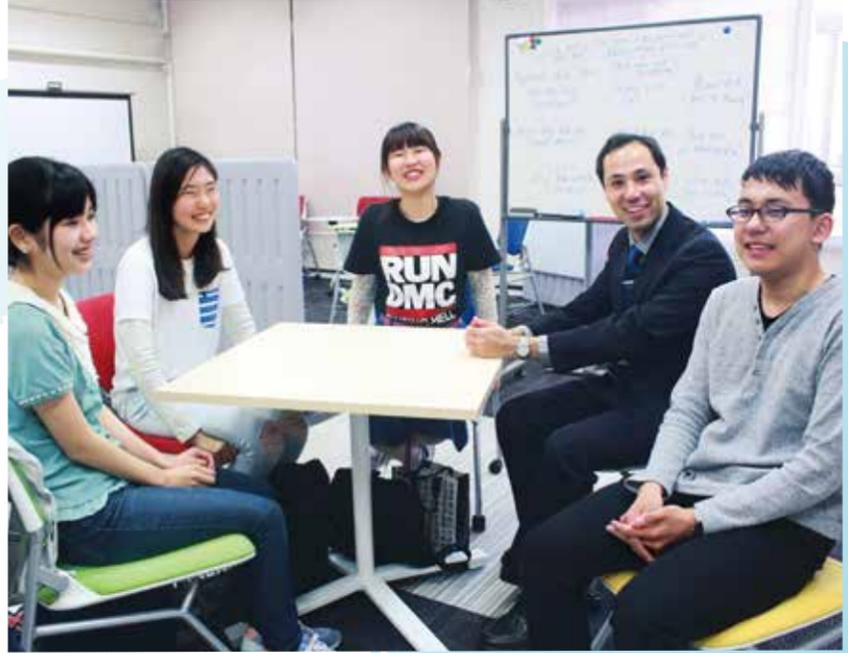
全て英語でコミュニケーションを図ることで、学内にいながら海外のような環境で英語に親しむことができます。指導経験豊富なネイティブの教員や英語が堪能なスタッフが常駐し、英語が自然と身につくようサポートします。

英語に親しむ多彩な機会を提供

英語教育センターでは、英語に関する様々なイベントを開催します。英語プレゼン大会、英語ゲームコンテスト、GLEE大会など、楽しみながら英会話経験を積むことができます。また、センター内では「BBCワールドニュース」が常に視聴可能。BBCワールドニュースとは、英国放送協会BBCが世界に向けて発信する国際ニュースとドキュメンタリーの専門チャンネルです。音声と映像を合わせて見聞きし内容を理解することでリスニング力を強化できます。その他にも、英語に関する参考書や問題集、英文法書など多彩な教材を取り揃えており、自由に閲覧することができます。

来年度はさらに進化!

- 英語教育センターは、2019年4月より新校舎「グローバル館」の1階に移転します。そこでは、学生が自由に英会話を楽しんだり、教材に触れたり、イベントに参加したりすることができる「English Studio」を設け、英語学習に関するより充実したコンテンツを提供する予定です。
- 個別指導や短期海外研修、中・長期の留学に関する相談は引き続き受け付けるほか、TOEIC、GTECなどの資格試験対策*も行います。
- *マネジメント学部国際観光ビジネス学科、教育学部教育学科 中等教育専攻英語教育コースの学生対象



英語教育センター常駐ネイティブ教員からの Message

新しいチャレンジに向けて、常に努力が必要です。グローバル社会で役に立つ、世界共通の英語に力を入れましょう。

英語を使って楽しく時間を過ごしてください。学生時代にしかできないことは多くあります。たくさん勉強して経験を積み、悔いなく精一杯過ごしてください。今の学びがきっと将来の基礎となります!
The sun is up, the sky is blue— it's beautiful and so are you!



From U.S.A. アレキサンダー・シェフリン先生 Mr. Alexander Sheffrin

From Canada ユージン・ワフネンコ先生 Mr. Yevheniy Vakhnenko

英語教育センター 利用学生の声

大阪成蹊大学 教育学部 教育学科 中等教育専攻 英語教育コース1年 駒 美友子さん

英語の教員をめざしています。英語教育センターでの授業をはじめ、毎日英語に触れ、新しい単語や文法などをどんどん吸収できる環境が整っていると感じます。同じ夢を持った仲間と共に学習でき、お互いに刺激し合うとともに、夢を追う上での支えにもなっています。

大阪成蹊大学 国際観光ビジネス学科 国際キャリアコース1年 辻 稀介さん

4~5人の少人数グループワークなので、普通の講義と違い、常に会話をしながら英語を学べるのが良いです。ネイティブの先生もとても親切でわかりやすいですし、それぞれの習得レベルを考慮してくれます。在学中にTOEICのスコアを伸ばしたいです。

English*CELL*を活用しよう!

ベルリッツのネイティブ講師から英会話レッスンを受けられるEnglish*CELL*では学部学科の垣根を越えた少人数のクラスで楽しみながら英語力を伸ばすことができます。授業の空き時間を活用し英会話スキルを向上できる貴重な機会として学生からの満足度も高く、年々受講希望者が増えています。



大阪成蹊短期大学



本学では豊かな国際経験と語学力の修得、および専門分野をグローバルな視点で学ぶことを目的として、海外研修「グローバル・アクティブラーニングプログラム」を実施しています。ここでは、研修に参加した学生の体験談をお届けします。

海外研修参加者の声

大人気のリゾート観光地で過ごす、英語漬けの2週間

参加プログラム:「セブ島グローバル人材養成プログラム(正課外)」(2018年2月・14日間) 渡航先:フィリピン・セブ島

セブ島は関西から飛行機で約4時間半、時差も少なく、マリンスポーツが非常に充実している旅行先・留学先として非常に人気の高い場所です。

2週間、島内の語学学校で1日8コマの授業を受講しました。うち半分がネイティブの先生とのマンツーマンレッスン。短期海外研修でマンツーマンの英語指導を受けられるのは珍しいと思います。内容は会話練習から長文読解まで様



々です。説明は全て英語で、わからないところがあれば英語で質問します。思うように伝えられないこともありましたが、数日経つ頃には英語を話すことへの抵抗感はなくなりました。英語のことを英語で学ぶ、「英語漬け」の毎日でした。

セブの観光事情について学ぶ機会もあり、島内のサンホセ大学 観光学科の授業に参加して、現地の学生たちが企画したツアープランの発表を聞くことができました。異国の学生の視点はとても興味深く、海外で自分達と同じように観光を学ぶ学生との出会いは大変刺激的でした。

週末には人気のホテル「パークアイランドリゾート&ウォーターパーク」を訪れ、支配人の方にホテルを案内していただきました。日本人も多く宿泊するホテルで、規模の大きさやサービスの多彩さ、何よりもホテルの従業員の方々が各国の観光客に対して、とてもスムーズに対応していたことが印象的でした。

帰国後に参加したホテルのインターンシップでベル業務に入らせていただいた際、研修の成果もあってか外国人の

お客様とも緊張せずに英語で会話することができました。現在はホテルに内定が決まっています。将来は外国人の方を含め、様々なお客様に対応できるオールマイティなコンシェルジュになりたいです。

セブ島での研修は、集中的に英語力を高めることができる密度の濃い2週間でした。今後たくさん英語に触れて、コミュニケーション能力を磨きたいです。



Report

大阪成蹊短期大学 観光学科2年生

濱田 吉乃さん



びわこ成蹊スポーツ大学で、 新しい自分と出会う

琵琶湖と比良山系の豊かな自然に恵まれた風光明媚なキャンパスでは、日本の新しいスポーツ文化を創造する人材を育成・輩出しています。

学生たちは7つの多様なコースに分かれ、スポーツに関わる様々なニーズに応えるプログラムで学びます。

また、大学の中心的な設備を集めた新校舎「中央棟」をはじめ、

サッカーフィールド・陸上フィールドの改修など、教育・トレーニングに必要な設備の拡充にも力を入れています。

ここでは、充実した環境でスポーツ・学びに取り組む学生の声をご紹介します。



びわスポ生インタビュー

吉田 光輝さん

スポーツ学部 スポーツ学科
トレーニング・健康コース4年



自身の故障経験から、 リハビリに関する学びに興味を抱いた

高校時代に打ち込んだサッカーを大学でも続けたいと思っていたところ、先輩からびわこ成蹊スポーツ大学のことを教えてもらいました。周囲の自然が豊かで、やりたいことに集中できる環境に惹かれ、入学を決めました。

1年次は垣根なく全員で学びに取り組むことで、強い仲間意識が生まれました。特に印象に残っているのは、「野外スポーツ3大実習」、「フレッシュマンキャンプ」、「雪上実習」、「水辺実習」の3つの実習を全員で体験するもので、中でも皆で協力しながら登山に成功したのは最高の思い出です。3大実習は、びわこ成蹊スポーツ大学が誇るプログラムだと思います。

2年次になりトレーニング・健康コースを選んだきっかけは、高校時代に足首を故障した経験からです。深刻な捻挫や骨折ではなかったものの、長い間違和感があったりすっきりせず…整骨院に通いリハビリを続けながら、少しの身体の変化が競技のパフォーマンスに影響を及ぼすということを実感しました。トレーニング・健康コースはリハビリテーションをはじめ、アスリートを支えるトレーナーとして必要な知識を学ぶコース。自身の経験を振り返りながら、筋肉や骨の構造、けがとスポーツの関係について、非常に興味を持って学ぶことができました。卒業論文では、「足首の柔軟性が及ぼすサッカー動作におけるキックの正確性やスピード」をテーマに執筆する予定です。

新校舎「中央棟」ができて変わった学生生活

昨年夏に中央棟ができて、学生生活も大きく変化しました。まず、学生同士のコミュニケーションが増えた事。特に展望レストラン「Lake Crest」



▲ミーティングにも利用できる展望レストランからは、世界最高水準の人工芝を敷いたサッカーフィールドも見渡せる

は皆のお気に入りの場所です。三方ガラス張りです琵琶湖と比良山系を見渡す開放感いっぱいの空間は、交流と憩いの場になっています。コースや学年の垣根を越えて会話をする機会が増え、大学全体が明るくなりました。

料理のメニューも豊富です。よく注文するのは「アスリートランチ」で、スポーツ活動に必要なエネルギーが考慮されていて、毎日練習に取り組む学生を栄養面からサポートしてくれる、看板メニューです。



▲定期的に内容が変わる人気の定食「アスリートランチ」

消防士をめざして公務員試験に挑戦



大阪府内の市の消防局採用試験を受ける予定で勉強しています。公務員試験を受験するにあたり、学外の有料セミナーを受講する人もいますが、私は学内の「 commons 」を活用して勉強してきました。commons には各自治体の過去問が充実しているだけでなく、試験内容でわからないところや選考について不安な点を気軽に相談でき、独学でも安心して勉強を進めることができます。規模が大きすぎない大学ならではの教職員との距離の近さには、いつも助けられています。

将来はいつか「高度救助隊[®]」になって、国民の命や財産を守る仕事に従事したいです。

びわこ成蹊スポーツ大学には、当然ながらスポーツが好きな人達が集まります。だからこそ、強い共感と仲間意識が生まれます。私はこの大学で、最高の仲間と「新たな自分自身」を見つけることができました。びわこ成蹊スポーツ大学での最後の1年間、楽しみながら悔いの無いよう過ごしたいと思います。



※震災など大規模な災害や事故に対応するために高度な救出救助能力を有する消防の専門部隊。

▲commons

福島 由梨佳さん

スポーツ学部 スポーツ学科
学校スポーツコース4年



陸上に打ち込んだ学生生活

中学校・高校・大学までずっと陸上を続けてきました。もともと7種競技が専門でしたが、高校2年の時に怪我をしたことで7種競技を続けるのが難しくなり、大学では得意種目だった走幅跳を専門に取り組んで来ました。

現在は、160人の部員が所属する陸上部で主将を務めさせていただき、大学生活のほとんどを陸上にささげています。主将として同期や後輩から競技に関することや個人的な悩みまで、あらゆる相談を受けることも多く、そのたびに一人ひとりの考えや置かれた環境を一緒に考えて、答えを見つけられるよう心がけてきました。

びわこ成蹊スポーツ大学は、周辺環境・学内設備・指導陣など、どの点からみても100%スポーツに打ち込める恵まれた環境です。毎日休みなく授業と部活に追われ大変だと感じることもありましたが、この大学だからこそ、その全てを頑張れたのだと思います。

陸上選手にとって憧れのブルートラック

昨年冬に陸上フィールドが改修され、色鮮やかなトラックに生まれ変わりました。陸上選手にとって、オリンピックや世界陸上でも採用されるブルーターンは憧れです。硬さがある走りやすく、断熱効果もある。加えて跳躍ピットが2から3に増えたことで、練習環境はさらに充実しました。公式戦に近い環境で本番を意識して練習を積める



▲全天候に対応する第3種公認陸上競技場で、国際大会を想定したトレーニングが可能

のは非常に良い事だと思います。

トレーニング設備もすぐそばに増設され、今まで以上に陸上と向き合える環境で、部員一同集中して練習に取り組んでいます。



大学での経験で作られた自分の強みを活かしながら働きたい

就職活動では複数の業界の企業の選考を受け、その結果とある不動産会社に内定をいただきました。本学ではどのコースでも学生と教員の距離が大変近いので、進路について先生方や就職部の方々にたくさん相談にのっていただきました。

会社ではおそらく営業職としてお客様と接していくことになると思います。もともと人と接するのが好きな性格ですが、陸上部主将として部員たちと向き合ってきた経験によって、それが単なる「好き」から自分の「強み」になったと感じます。誰しも自分の好きなやり方ばかり優先することはできないし、納得がいけないこともある。きっと社会に出て働いても、それは同じだと思います。もちろん私を育ててくれたのは陸上部だけではなく、学校スポーツコースでは、模擬授業をはじめ人前で話す機会がとて多かったです。「アクティブラーニング」を取り入れた授業のおかげで、複数の人と意見をすり合わせる力や、自分の考えをプレゼンテーションする力が身につきました。

これから私が挑戦する不動産の仕事は、お客様の希望をくみ取りながら、一人ひとりの暮らしや人生に踏み込む仕事。人と人の関わり合いを大切にしながら精一杯頑張りたいです。スポーツをやってきたこともあり負けず嫌いな性格なので、バリバリ成績を上げて期待に応えたいです!(笑)

※このインタビューは2018年5月に実施しています。



教育・学生サポート

大阪成蹊女子高等学校

新 美術棟完成!

2018年3月、大阪成蹊女子高等学校に新しい美術棟が完成しました

教室・実習室

美術棟では全ての教室にスクリーン・プロジェクターを揃えており、授業時に参考映像や作品のデータを投影することが可能です。その他、豊富な実習室や工芸室、陶芸室まで揃った、美術科ならではの充実した環境で作品制作に打ち込むことができます。各階のエレベーターホールが広く取られているのも特徴で、フリースペースとして作品を展示できるほか、生徒同士のディスカッションのための場所としても活用されています。



食堂

1階の食堂「Fleurir(フルリール)」はガラス窓に囲まれ、自然光がたっぷりと差し込む明るい雰囲気。ゆったりとした空間で美味しいランチを楽しむことが出来ます。メニューは有名シェフ監修による日替わりランチをはじめ、おいしさや栄養価のバランスのとれた多彩なラインナップです。放課後は自習スペースとしても開放しています。



鳥居 みうさん (美術科3年)

新しい美術棟は絵を描くための実習室も広く、作業がしやすいです。教室にプロジェクターとスクリーンがあるので、課題のテーマや作品例などをすぐに見て理解することができ、とてもスムーズに授業に取り組みます。1階の食堂も綺麗でお洒落で、とても快適です。その時々々のフェアや日替わりメニューが豊富なので、毎日利用しています。

就職活動最前線!

大阪成蹊大学・びわこ成蹊スポーツ大学・大阪成蹊短期大学

全学で高い就職率

教育学部初の卒業生も大きな成果

2018年3月卒業生の就職率が確定し、大阪成蹊大学では**99.0%**、びわこ成蹊スポーツ大学では**99.6%**、大阪成蹊短期大学では**99.5%**でいずれも全国平均を上回り、学園全体で**99.4%**の就職実績となりました。(全国平均：四大**98.0%**、短期大学**99.1%**)



▲就職部での個別サポート

大学・短期大学では、(株)関西アーバン銀行や(株)カブコン、(株)ヴィッセル神戸、パナソニック(株)、(株)ロイヤルホテルなどの大手企業を中心に、各学部学科の学生が学びと資格を活かした企業への就職を決めています。

また3月に初めての卒業生を送り出した大阪成蹊大学教育学部では、46名の小学校教員希望者が公立学校教員採用試験を受験し、最終的に18名が合格しました。また残りの28名も常勤講師として採用され、**46名全員があこがれの教壇に立つ**結果となりました。さらに、幼稚園・保育園教員の希望者、民間企業希望者についても全員が内定を獲得し、学部就職率**100%**を達成しました。

就職部では今年も2019年3月卒業予定者を対象に、2月に学内業界研究セミナー、3月に3大学合同の学内合同企業説明会を開催。現在も早期の内定獲得に向け、応募書類の作成サポートや面接練習、選考状況の相談や希望企業に関する質問など、一人ひとりに合わせたきめ細かい就職支援を行っています。



▲合同企業説明会



＜大阪成蹊大学 教育学部 小学校教員採用試験市町村別合格者＞ ▲教育学部の教員採用試験合格者

大阪府	大阪市	豊能地区	堺市	京都府	兵庫県	横浜市	合計
6名	5名	1名	2名	2名	1名	1名	18名

＜2018年3月卒業生実績表＞

	就職率 (就職者数/就職希望者数)	就職希望率 (就職希望者数/卒業者数)
学園全体	99.4%	92.7%
大阪成蹊大学	99.0%	92.0%
びわこ成蹊スポーツ大学	99.6%	92.2%
全国平均(四大)	98.0%	75.3%
大阪成蹊短期大学	99.5%	93.4%
全国平均(短大)	99.1%	84.2%

大阪成蹊短期大学



社会で活躍する大阪成蹊学園の卒業生を紹介するコーナー。今回は、大阪成蹊短期大学 児童教育学科 (現:幼児教育学科)を卒業し、ドバイにある日本人幼稚園で園長として活躍する中谷佳心子さんにお話を伺いました。

—カナダ・中国・インド・ドバイ 各国の日系幼稚園で勤務—



ドバイ日本人幼稚園園長 中谷佳心子さん

大阪成蹊短期大学で過ごした2年間は、昨日のこのように覚えています。当時の友人達とは今でも近況を報告し合うなど、時間が経っても変わら

ず仲良しです。卒業後、大阪府の私立幼稚園に勤務していた時、「海外で幼稚園の先生をしてみたい。」という思いが芽生え、単身カナダに渡りました。カナダで語学を学びながら日系幼稚園の仕事を探し、狭き門ながら就職。帰国後も、英語と保育を両立した環境で働きたいという思いからインターナショナルスクールで勤務しましたが、もう一度海外で働きたいという思いは消えず、中国とインドの

日系幼稚園に勤務したのち、現在のドバイ日本人幼稚園で勤務することになりました。

日系幼稚園の使命の1つは、「海外にいながら日本と同じ幼児教育を提供する」ことです。海外にいても日本語に欠けることのないよう、絵本の読み聞かせやフラッシュカードを用いて日本語の語彙を増やす工夫を行っています。また異年齢保育も取り入れ、年上との会話を通じて日本語の表現力を高めています。私の園では単に日本の幼稚園と同様の教育を提供するだけでなく、近隣のインターナショナルスクールとの

グローバルな交流をはじめ、海外ならではの内容も組み込んでいます。

日系幼稚園で勤める上では、まず日本で幼稚園教諭として経験を積むことが重要だと思います。また、ネットワークを軽くすることも大切です。色々な場に足を運んで言語や文化を学ぶことで、保育者としての引き出しも増えます。

大阪成蹊短期大学で学んだことは、今につながる貴重な経験です。同じ志を持って学び、今は過さず場所が違っても、いつでも励まし合える仲間に出逢えた母校に感謝しています。

私はカナダで英語を学び、児童英語教師の資格を取得しまし

た。また中国では中国語も学びました。語学に限らず、何か得意なことや資格を持つことで、将来の選択肢が広がります。学生の皆さん、まずは何か一歩、踏み出してみてください。今自分の夢が分からなくても、興味のあることに向かって動いていけば、きっとやりがいを感じることに出来るはずですよ。



▲併設のドバイ日本人学校



▲ドバイ日本人学校の校庭



▲短大時代の友人とドバイマラソンに参加

スポーツ・クラブ活動／その他のお知らせ

照準は、世界へ。

大阪成蹊学園の活躍するアスリートたち



大阪成蹊大学



卓球部復活創部

2018年より新たな強化クラブとして、大阪成蹊大学卓球部を創部しました。

実は、今回の卓球部創部は「復活」。かつて大阪成蹊短期大学卓球部は古豪として知られており、関西学生リーグでは9回優勝、春秋王座決定戦においては昭和46年から昭和51年の間、6年連続総合優勝し、一時代を築いた歴史があります。

卓球部再建にあたり、指導陣にはそうそうたる顔ぶれが揃いました。オリンピック女子日本代表監督をつとめた村上恭和氏をアドバイザーに迎え、監督には、学生時代全日本学生ダブルスで優勝し、関西卓球アカデミーでコーチをつとめる皆川頭一氏と、全日本選手権で優勝経験があり、日本体育協会公認卓球コーチをつとめる川嶋崇弘氏の2名が就任し、選手育成にあたります。

そして1期生となる部員には、国体や高校総体など全国レベルの大会にも出場実績のある選手を含む、期待のルーキー5名が在籍しています。

今後、関西の頂点から日本の頂点、さらにはオリンピックという夢の舞台を見据えた、卓球部の活躍が期待されます。



村上 恭和
アドバイザー



皆川 頭一
女子監督



川嶋 崇弘
男子監督

びわこ成蹊スポーツ大学

ハンドボール部



びわこ成蹊スポーツ大学のハンドボール部は、2年前まで同好会として活動していました。2018年度に入学した1年生の中にハンドボール経験者が多く、大学でも本格的にハンドボールをプレイしたいとの要望があったため、今回創部に至りました。

本年度は関西学生ハンドボール連盟への参入を目標に活動します。また、滋賀県内の社会人大会や滋賀県民体育大会の参加も予定しています。

ダンス部



もともと「フレンジーズ」という名称でチアダンスに特化していたものが、2年前に多様なジャンルのダンスを統合したダンスサークルとなり、2018年5月、部員の増員や目標意識の向上を受け、正式にクラブとして活動していくことに決定しました。

今年度は、学内や地域のイベントを中心に活動し、ダンス部を広く知っていただくことをめざします。大学祭でのパフォーマンスや自主公演についても計画しています。



大阪成蹊大学

クニハトピックス

陸上競技部



▲齋藤愛美選手

今年4月に大阪成蹊大学に入学、同時に女子陸上競技部に入部した齋藤愛美選手(倉敷中央高校出身)の活躍が目まぐるしく注目を浴びています。齋藤選手は女子200mのアンダー20日本記録・高校記録保持者で、女子4×100mリレーの日本代表候補に数えられる実力を誇る選手です。

4月11日(水)～12日(木)には「シンガポール・オープン2018」に日本代表選手として4×100mリレー(3走)に出場し、大会新記録で優勝。入部早々快挙を成し遂げました。

また5月20日(日)にヤンマースタジアム長居で行われた「セイコーゴールデングラプリ陸上2018大阪」に4年の青山聖佳選手とともに出場。各種目に世界ランク50位以内が出場するレベルの高い競技会において、名だたるトップアスリート達とともに走り、女子4×100mリレー(3走)で2位、先輩の青山選手は女子4×400mリレー(2走)で2位という結果となりました。

陸上競技部期待のルーキーに、熱いご声援をお願いします。



▲青山選手と齋藤選手

バドミントン部



2015年の創部より、元中国ナショナルチーム代表胡山喬監督の指導のもと5部からスタートした男子バドミントン部は、2018年春季リーグにて見事1部リーグ昇格を果たしました。中心メンバーである三宅航平選手(4年)の活躍もあり、創部4年目の快挙となりました。1部リーグには他に関西学院大学、立命館大学などの強豪が名を連ねます。

1部校にのみ与えられる日本インカレの出場権も獲得し、今後全国レベルでの活躍が期待されます。



大阪成蹊大学バドミントン部

第8回 大阪成蹊全国アート&デザインコンペティション

昨年は全国各地から計2,243点の応募がありました!

theme
未来への発信

高校生・中学生 作品募集

大阪成蹊学園では、未来のための人材発見を目的として、大阪成蹊大学 芸術学部、大阪成蹊女子高等学校 美術科との共催による「第8回大阪成蹊全国アート&デザインコンペティション2018」を開催します。また、授賞式を2018年11月18日(日)に開催し、受賞作品を大阪成蹊大学 芸術学部棟(南館)1F ギャラリー(space B)にて11月18日(日)～12月2日(日)に展示します。



対象 (高校生の部) 国内に在住する高校生 (中学生の部) 国内に在住する中学生

詳細 大阪成蹊大学WEBサイト内 http://univ.osaka-seikei.jp/news/441 テーマから連想するものを題材として、自由に発想した作品を募集。

作品募集期間 2018.9.3(月) - 10.4(木)

学園同窓会「蹊友会」

2018年度 総会を開催

2018年度総会を6月3日(日)に開催しました。当日は全国各地から150名の卒業生が集い、学園関係者を含む約200名の方々にご出席いただきました。オープニングでは学園コーラス部が「学園歌」を合唱。続いて朝ドラ主題歌として有名な「若い広場」を合唱し、女子高校の生徒達の振り付けも披露されました。

荻田一子会長、石井茂理事長・総長の挨拶の後、議事へと進み昨年度の事業報告、決算報告、役員選出、本年度の事業計画案および予算案についての説明があり、全て異議無く承認可決しました。

続いて、料理研究者としてテレビなどで活躍する浜内千波氏(大阪成蹊女子短期大学 家政学科卒業)が登場し、野菜を中心とした健康的なダイエットの体験談をはじめ、野菜の持つ力やたんぱく質の重要性について講演されました。その後の昼食会では、浜内氏を囲んで同窓生の皆さんが学生時代の話題に花を咲かせていました。



2018 オープンキャンパス・オープンスクール 開催日程

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学

7/22日・8/5日・8/19日
9/23日・12/16日



びわこ成蹊スポーツ大学

7/22日・7/29日
8/5日・8/19日・12/9日



大阪成蹊女子高等学校

8/22日・9/29日・10/27日
11/17日・12/1日・12/15日

